

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ニチリョク

コード番号 7578 URL <http://www.nichiryoku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺村 久義

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼常務執行役員 (氏名) 矢田 欣也

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

TEL 03-3396-3052

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,464	△20.9	△102	—	△138	—	△96	—
23年3月期第2四半期	1,850	△24.2	△119	—	△159	—	△120	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△7.41	—
23年3月期第2四半期	△9.11	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	
24年3月期第2四半期	9,784	—	3,518	—	36.0	271.24	—	
23年3月期	9,457	—	3,738	—	39.5	285.24	—	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 3,518百万円 23年3月期 3,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,800	△6.8	450	264.8	350	113.5	180	235.0	13.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	13,741,014 株	23年3月期	13,741,014 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	768,160 株	23年3月期	633,160 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	13,066,318 株	23年3月期2Q	13,208,947 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。上記予想数値に関する事項につきましては、「添付資料」P.2「当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第2四半期累計期間	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、今年3月に発生した東日本大震災により大きな打撃を被り、また原発事故による電力供給問題や風評被害なども加わり、景況感の改善には至らず、個人消費も依然低調に推移しており、先行きが不透明な状況となっております。当社が属する供養産業におきましても、死亡者が年々増加しているにもかかわらず、特に葬儀業界では、葬儀の小規模・地味化傾向が一層顕著となると共に価格競争が激化し、顧客単価下落という厳しい状況にあります。お墓事業につきましても、景気の低迷による購買意欲の減退に伴う霊園への来園顧客数の減少のため、当社の売上は前年同期に比べ大きく下回りました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高14億6千4百万円（前年同四半期比20.9%減）、営業損失1億2百万円（前年同四半期営業損失1億1千9百万円）、経常損失1億3千8百万円（前年同四半期経常損失1億5千9百万円）、四半期純損失9千6百万円（前年同四半期純損失1億2千万円）となりました。

各セグメントの状況

<霊園事業>

従来式の屋外墓地につきましても、比較的高価格となる墓地の買い控え及び小規模区画墓地傾向が続く環境下、一つのお墓に多数のお骨を納める共有墓の募集などをすすめました。売上高は7億4千4百万円（前年同四半期比22.4%減）となりました。

<堂内陵墓事業>

堂内陵墓第三号「関内陵苑（横浜市）」が昨年4月に完売したことにより、前年同四半期に比べ販売手数料収入が大幅に減少いたしました。一方、堂内陵墓第四号「覚王山陵苑（名古屋市千種区）」は当初計画どおり順調な販売実績をあげております。売上高は2億6千2百万円（前年同四半期比27.7%減）となりました。

<葬祭事業>

葬儀の地味化傾向が一層顕著となり施行単価が下落しております。一方、従来の葬儀の流れである、葬儀社主導の葬儀施行形態を改革する目的として、昨年6月に「ラステル久保山（横浜市西区）」を開業いたしました。顧客からの家族葬・直葬のニーズが当初計画より高く、葬儀施行件数は順調に推移しております。また、本年7月、ご自宅感覚での葬儀（邸宅葬）施行を目的とした「ラステル久保山新館」を開業し、双方、今後の葬儀部門の売上に貢献するものと確信しております。売上高は4億5千6百万円（前年同四半期比13.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産合計は、97億8千4百万円となり、前事業年度末に比べ3億2千6百万円増加いたしました。

流動資産は、前事業年度末に比べ、2億4千5百万円減少し、32億8千4百万円となりました。その主な要因は、完成工事未収入金6千5百万円及び永代使用权1億2千7百万円の減少によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ、5億7千2百万円増加し、64億9千9百万円となりました。その主な要因は、建物6千7百万円、土地5千4百万円、建設仮勘定4億7千6百万円及び差入保証金2億2千6百万円の増加、霊園開発協力金5千9百万円及び長期貸付金1億5千7百万円の減少によるものです。

流動負債は、前事業年度末に比べ、1千5百万円増加し、32億1千8百万円となりました。その主な要因は、未成工事受入金1億円の増加、1年内返済予定の長期借入金9千3百万円の減少によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ、5億3千1百万円増加し、30億4千7百万円となりました。その主な要因は、長期借入金6億5百万円の増加、社債1億1百万円の減少によるものです。

純資産は、前事業年度末に比べ、2億2千万円減少し、35億1千8百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金1億9千5百万円の減少によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、主に霊園開発協力金の支出及び有形固定資産の取得による減少もありましたが、一方で貸付金の回収及び借入による収入があり、前事業年度末に比べ、9千8百万円増加し、当第2四半期会計期間末は11億1千9百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれら要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動の結果、獲得した資金は3億9千7百万円(前年同四半期は3千2百万円の使用)となりました。これは、主として営業収支による獲得(3億円)と法人税等の還付額(1億3千7百万円)によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動の結果、使用した資金は6億6千1百万円(前年同期は4億2千2百万円の使用)となりました。これは、主として有形固定資産の取得(6億5千5百万円)及び霊園開発協力金(2億7百万円)の支出と、貸付金の回収(2億3百万円)によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動の結果、獲得した資金は3億6千2百万円(前年同期は2千5百万円の獲得)となりました。これは、主として長期借入金の純増による収入額(5億8百万円)と社債の純減による支出額(1億1千6百万円)によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点、平成23年5月13日に公表いたしました通期の業績予想からの修正はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,624,167	1,718,594
完成工事未収入金	132,327	66,475
売掛金	111,000	97,417
永代使用権	889,839	762,179
未成工事支出金	314,308	348,056
原材料及び貯蔵品	72,300	76,197
その他	386,756	216,085
貸倒引当金	△19	△15
流動資産合計	3,530,680	3,284,991
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,081,395	1,136,101
その他(純額)	693,503	1,239,059
有形固定資産合計	1,774,899	2,375,161
無形固定資産	196,725	155,046
投資その他の資産		
長期貸付金	710,862	553,070
差入保証金	870,919	1,097,817
壺園開発協力金	1,241,188	1,182,034
その他	1,231,639	1,236,837
貸倒引当金	△99,531	△100,831
投資その他の資産合計	3,955,078	3,968,927
固定資産合計	5,926,702	6,499,135
資産合計	9,457,383	9,784,126
負債の部		
流動負債		
買掛金	80,198	50,132
短期借入金	519,400	611,400
1年内返済予定の長期借入金	1,605,560	1,512,104
1年内償還予定の社債	395,000	381,000
未払法人税等	—	8,423
賞与引当金	28,256	27,700
その他	574,210	627,533
流動負債合計	3,202,625	3,218,293
固定負債		
社債	641,000	540,000
長期借入金	1,530,630	2,136,575
退職給付引当金	221,582	239,360
役員退職慰労引当金	122,320	130,850
その他	300	300
固定負債合計	2,515,833	3,047,086
負債合計	5,718,458	6,265,380

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,306,842	1,306,842
資本剰余金	958,082	958,082
利益剰余金	1,617,524	1,422,370
自己株式	△117,149	△140,444
株主資本合計	3,765,300	3,546,850
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14,516	△18,537
繰延ヘッジ損益	△11,858	△9,566
評価・換算差額等合計	△26,375	△28,104
純資産合計	3,738,924	3,518,746
負債純資産合計	9,457,383	9,784,126

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,850,978	1,464,696
売上原価	760,927	520,003
売上総利益	1,090,051	944,693
販売費及び一般管理費	1,209,817	1,046,914
営業損失(△)	△119,765	△102,221
営業外収益		
受取利息	15,207	9,311
受取配当金	5,644	5,644
違約金収入	—	8,840
その他	20,945	18,801
営業外収益合計	41,796	42,596
営業外費用		
支払利息	63,125	53,494
シンジケートローン手数料	9,900	15,000
その他	8,394	10,005
営業外費用合計	81,419	78,499
経常損失(△)	△159,389	△138,124
特別利益		
固定資産売却益	—	523
特別利益合計	—	523
特別損失		
固定資産除却損	18,082	23
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,202	—
特別損失合計	21,284	23
税引前四半期純損失(△)	△180,673	△137,624
法人税、住民税及び事業税	3,991	4,273
法人税等調整額	△64,377	△45,052
法人税等合計	△60,386	△40,778
四半期純損失(△)	△120,286	△96,845

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
営業収入	2,005,002	1,698,531
原材料又は商品の仕入れによる支出	△542,463	△404,803
人件費の支出	△611,825	△486,660
その他の営業支出	△655,027	△506,248
小計	195,686	300,819
利息及び配当金の受取額	20,701	14,889
利息の支払額	△63,792	△56,040
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△184,941	137,424
営業活動によるキャッシュ・フロー	△32,346	397,093
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△28,170	△30,062
定期預金の払戻による収入	34,000	34,000
有形固定資産の取得による支出	△137,328	△655,335
有形固定資産の売却による収入	—	2,000
無形固定資産の取得による支出	△800	—
出資金の回収による収入	—	10
貸付けによる支出	△70,000	△46,000
貸付金の回収による収入	197,580	203,591
霊園開発協力金の支出	△17,818	△207,023
霊園開発協力金の回収	38,989	70,444
差入保証金の差入による支出	△468,486	△132,068
差入保証金の回収による収入	30,305	104,090
その他	△922	△5,087
投資活動によるキャッシュ・フロー	△422,651	△661,441
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	913,000	1,261,000
短期借入金の返済による支出	△739,000	△1,169,000
長期借入れによる収入	1,015,100	1,508,257
長期借入金の返済による支出	△1,154,014	△999,310
社債の発行による収入	243,479	98,290
社債の償還による支出	△140,000	△215,000
自己株式の取得による支出	△13,518	△23,540
配当金の支払額	△99,249	△97,984
財務活動によるキャッシュ・フロー	25,797	362,712
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△429,200	98,364
現金及び現金同等物の期首残高	1,625,370	1,021,417
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,196,169	1,119,782

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。